

授業科目名	アスレチックリハビリテーション論	授業形態	講義	授業科目区分	専門科目 (応用科目)			
担当教員名	赤嶺 卓哉・藤田 英二			補助担当者名				
単位数	2 単位	履修年次	2年次	受け入れ人数	100名			
授業の概要	一般的なりハビリテーション医学の解説とともに、アスレチックリハビリテーションの概念、対象となる各種疾患の病態について論説する。本授業では、スポーツ外傷・障害の部位および疾患別リハビリテーションと、主な実践者であるアスレチックトレーナーのスポーツ現場での役割や、活動に必要な基礎知識について講義をすすめる。これにより、実際にアスレチックリハビリテーション方法に対する知識が身につく、将来この分野での就業や、関連する資格取得などを希望する学生への一助となることが期待される。この授業は、アスレチックリハビリテーションについての学習を通じて、本学の教育目標における「スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する知識を活用できるような能力」を身に付ける科目です。							
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標		成績評価の方法					
			授業期間		定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表		
	■認知的領域	アスレチックリハビリテーションの概念、対象となる各種疾患の病態について理解できる。スポーツ外傷・障害の部位・疾患別リハビリテーション法などを知り、新たな解決方法を提案できるよう課題を整理する。		○	○			○ (口頭試験)
■情意的領域	スポーツ外傷・障害後のトレーニング計画の具体的な立案方法について理解するとともに、当該分野に興味・関心を持ち、主体的に勉学する。	○						40
□技能的領域								
成績評価の基準	レポート（複数回）が提出されているという条件で、授業期間に行った口頭試験（小テスト）、授業態度（意欲）、レポートなどの各得点を合計し、60点以上のものを合格とする。							
テキスト、教材 参考書	参考書：『公認アスレチックトレーナー専門科目テキスト（①アスレチックトレーナーの役割、③スポーツ外傷・障害の基礎知識、⑤検査・測定と評価、⑦アスレチックリハビリテーション）』（公益財団法人日本体育協会）							
履修条件・ 関連科目	100名以上となる際は、1年次の受講者数を制限する。救急処置論・実習を履修していることが好ましい。	備考(教員メッセージ含む)	テキストに沿って授業を行うので、準備をし、予習・復習をすること。特に真面目な受講態度を重視する。					
オフィス・アワー	赤嶺：火曜日 11時40分～12時40分 研究棟4階 408研究室(要予約)、藤田：随時、スポーツトレーニング教育研究センター2階研究室							
授業計画								
回	担当教員名	授業内容		授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	赤嶺 卓哉	アスレチックリハビリテーション総論（必要性、診療、検査、手法、計画）、スポーツ外傷・障害の基礎知識		総論・基礎知識についての予習・復習				
2	〃	部位・疾患別リハビリテーション1（頸部、腰・背部）		リハビリテーション（頸部等）の予習・復習				
3	〃	〃 2（腰・背部、骨盤・股関節）		リハビリテーション（腰・背部等）の予習・復習				
4	〃	〃 3（肩部、肘関節）		リハビリテーション（肩部等）の予習・復習				
5	〃	〃 4（手・手指、大腿部）		リハビリテーション（手・手指等）の予習・復習				
6	〃	〃 5（大腿部、膝関節）		リハビリテーション（大腿部等）の予習・復習・レポート				
7	〃	〃 6（膝関節、下腿部、足・足関節）		リハビリテーション（膝関節）等の予習・復習				
8	〃	〃 7（足・足関節）		リハビリテーション（足・足関節）等の予習・復習・レポート				
9	藤田 英二	スポーツ現場におけるアスレチックトレーナーの歴史		授業の観点についてまとめレポートを提出				
10	〃	日本におけるアスレチックトレーナーの現状		授業の観点についてまとめレポートを提出				
11	〃	スポーツ現場におけるアスレチックトレーナーの役割		授業の観点についてまとめレポートを提出				
12	〃	アスレチックトレーナーに必要な検査・測定と評価①（形態計測、アライメントなど）		授業の観点についてまとめレポートを提出				
13	〃	アスレチックトレーナーに必要な検査・測定と評価②（ROM、MMTなど）		授業の観点についてまとめレポートを提出				
14	〃	アスレチックリハビリテーション論①（考え方）		授業の観点についてまとめレポートを提出				
15	〃	アスレチックリハビリテーション論②（運動療法、物理療法）		授業の観点についてまとめレポートを提出				